

・アサリが高密度に着生するため、被覆網等の膨満や夏季減耗を回避し漁獲に繋げることができれば移植の作業性を低減し、効率的かつ効果的に漁獲量を大幅に増加できる可能性がある

### 6.3.2 作業カレンダー

5 か年の成果として本地先において最適な手法として選択された収穫ネット入ラッセル袋を干潟陸側に設置し、干潟沖側へ移植（夏季減耗回避）する際に内側の収穫ネットを取り除くことで膨満による生残・成長阻害を回避し漁獲する方法について、作業カレンダーを作成し図 5 に示す。

1 年目の9月に干潟陸側に設置し、5月に移植、2年目の7月にラッセル袋を丸ごと回収して漁獲することで漁獲量が最大となる。

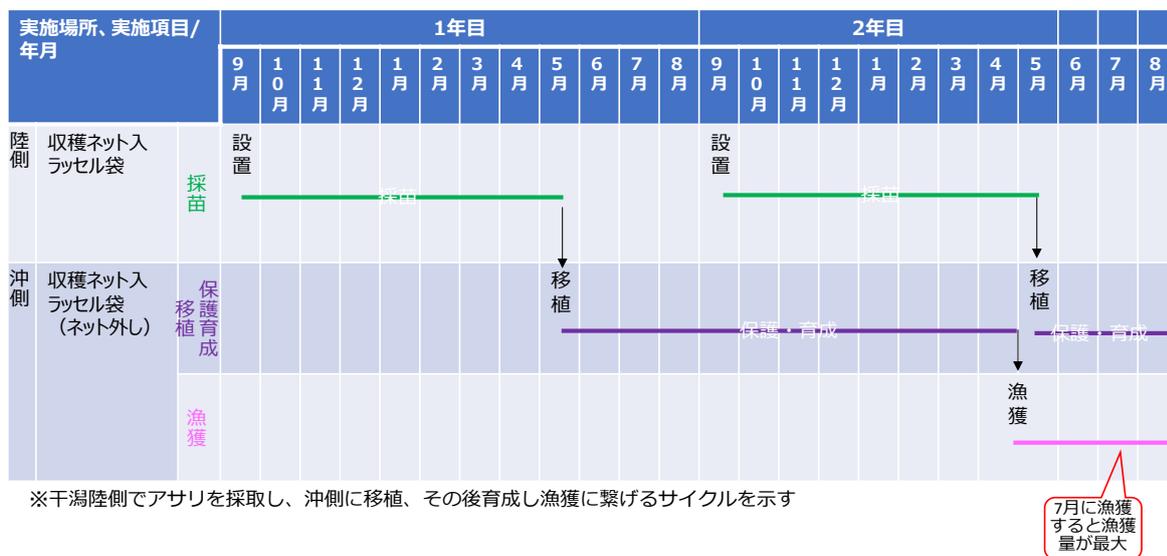


図 58 作業カレンダー（本事業で最適と考えられた収穫ネット入ラッセル（ネット外し）が対象）

### 参考文献

- 1) 一般社団法人マリノフォーラム 21・海洋エンジニアリング株式会社・日本ミクニヤ株式会社・株式会社東京久栄・株式会社水圏科学コンサルタント・いであ株式会社 平成 30 年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業報告書 2019; 540pp.
- 2) 一般社団法人マリノフォーラム 21・海洋エンジニアリング株式会社・日本ミクニヤ株式会社・株式会社東京久栄・株式会社水圏科学コンサルタント・いであ株式会社 平成 31 年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業報告書 2020; 472pp.
- 3) 一般社団法人マリノフォーラム 21・海洋エンジニアリング株式会社・日本ミクニヤ株式会社・株式会社東京久栄・株式会社水圏科学コンサルタント・いであ株式会社 令和 2 年度有明海のアサリ等の生産性向上実証事業報告書 2021; 632pp.
- 4) 田村亮輔, 戸田拓磨, 竹下文雄, 五嶋聖治. 潜砂制限がアサリの成長に及ぼす影響. 日本ベントス学会誌 2016; 70: 83-90.
- 5) 水産庁増殖推進部 アサリ漁場環境改善技術導入のための手引きー有明海の豊かな資源再生のためにー. 2018.

6) 熊本県 熊本県アサリ資源管理マニュアルⅡーアサリを安定的に漁獲するためにー. 2006.

### 電子格納データ

報告書見出し	実験名	データ
1. 技術開発の概要	-	成果と課題のフロー (ppt)
2. 環境調査結果 (共通項目調査)	地盤高測量	地形測量結果 (R4. 6) (png) 音響測探機データ (R4. 6) (png) 地形測量結果比較 (R4-R3) (png) 水深結果比較 (R4-R3) (png)
	流況、波高および水質調査	水質連続調査データ (R4. 4~R5. 2) (Excel) 波高観測データ (Excel) SS, VSS (R4. 8 及び R5. 1) (Excel)
	底質調査・生物調査	R1-R4 底質調査 (Excel) R1-R4 生息状況調査 (Excel) R1-R4 初期稚貝調査 (Excel)
3. 採苗技術・保護育成技術・生産性向上のための移植技術の開発	稚貝確保・保護育成・移植実験	R2 秋設置_網袋ごとの結果 (Excel) R2 秋設置_袋網の重量 (Excel)
4. 漁業者利用を見据えた移植技術の検討	干潟陸側における移植実験	R3 春設置_被覆網結果 (Excel) 生息環境の評価 (Excel) 底面せん断応力データ (Excel) R4. 被覆網の状況 (Excel) 温度環境+塩分_1806_2208 (Excel)
5. 参考情報	-	R4 春設置_網袋ごとの結果 (Excel)
6. 成果と課題	-	金額算出 (Excel)